

講義名称	新島襄—その時代と生涯—	担当教員名	李 元重
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	キリスト教 CA3 DI1	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	HUM111

授業のキーワード	新島襄、建学の精神、新島学園短期大学、同志社大学
授業の概要	本学創立の源泉となる新島襄の生涯、思想、信仰を理解します。新島襄の影響を受けた歴史的な人物を、現在自分の課題を見い出します。
期待される学習成果 (目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新島襄の生涯と思想を理解します。 2. 新島襄の精神を受け継ぐ本学の理想と理念を主体的に考えます。 3. 現代社会への関心をもち、自らの課題と繋げる試みを行います。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の案内、目標、進行方法、評価などを説明します。
2	新島襄が生きた時代	幕末・明治維新初期の日本と世界情勢
3	生涯1	誕生、家族、青年期の葛藤、脱国の決心
4	生涯2	船上での変化、航海、回心、アメリカでの教育
5	安中ツアー	新島襄旧宅、安中教会、有田屋などを訪問、見学
6	生涯3	岩倉使節団、大学構想、帰国後の活動
7	同志社英学校設立	設立の経緯、Davis宣教師、山本覚馬と協力者たち
8	教育と伝道	同志社を中心とする教育と日本各地の伝道活動
9	教育思想	「同志社大学設立旨意」から学ぶ教育思想
10	教育思想と信仰	前回の続きと、新島のキリスト教信仰理解
11	新島襄の死	最後の活動、遺言、葬儀、新島没後の同志社
12	弟子たち1	熊本バンドについて
13	弟子たち2	安部磯雄、湯浅治郎、柏木義円、山室軍平、石井十次など
14	次世代の継承者	新島学園を含め、新島の精神を受け継ぐ人々
15	まとめ	質疑応答、期末レポートの点検

定期試験	定期試験は行いません。
授業時間外学習	授業中に提示される資料を読みます。期末レポートを書くために紹介される参考文献を読み解きます。
評価方法	①授業への取り組み(質疑、コメントなど30%)。 ②期末レポート(70%)。
使用する教科書(必ず購入してください)	特になし。適宜資料を配布します。
参考文献	編集委員会『現代語で読む新島襄』丸善出版、2000年。和田洋一『新島襄』岩波書店、2015年。同志社『新島襄—その時代と生涯』(写真集)、1993年。